

要求実現！

見づらい多画面のITVの改善勝ち取る！

名古屋地本は、この間、機会ある毎にホーム上の安全について会社と議論してきました。現場で日々、苦勞している車掌組合員よりホームに設置されているITVが見づらいという意見が出され、各線区の実態を分会組合員に調査依頼、集約して5月11日、会社に申し入れてきました。8月2日に業務委員会が開催され一部、改善要求を勝ち取りました。

【申し入れ内容と会社回答】

1. ITVを設置する基準を明らかにされたい。

【回答】ホーム形状や車掌の立哨位置等の状況を勘案し必要な箇所に設置している。

2. 各線区においてITVが設置されている駅の数明らかにすること。

【回答】36駅に設置している。

3. 各駅におけるITVの今後の改善・改良状況を明らかにすること。

【回答】必要に応じて適宜適切に実施していく。

4. ホームのカメラが4カ所の場所を撮し、その映像を1台のITVモニターで4分割画面で映している駅がある。映像が4分割されているため一カ所一カ所の画面が非常に小さくなる。確認不良の原因になっているのでモニターを増設すること。

具体的には、東海道線 金山駅上り（8両編成の時）

中央線 春日井駅上りホーム

【回答】金山・春日井については、今年度に取り替え予定である。

5. 東海道線においてITVの確認がしにくい駅があるので改善・改良すること。

*東海道線上りホームでは

尾頭橋駅（6、8両編成時）特にJRA開催日。逢妻駅（6、8両編成時）三河塩津駅（8両編成時）三河大塚駅（6、8両編成時）

*東海道線下りホームでは

尾頭橋駅（6、8両編成時）特にJRA開催日。逢妻駅（6、8両編成時）三ヶ根駅下（6、8両編成時）三河塩津駅（6、8両編成時）三河大塚駅（6、8両編成時）

【回答】適宜適切に対応している。

6. 東海道線において朝日・夕日の光線で I T Vが見にくい駅がある。I T Vの後方に板などを設置し見やすくすること。

*東海道線上りホームでは

関ヶ原駅（朝日で見にくい）垂井駅（朝日で見にくい）安城駅（朝日で見にくい）
三河大塚駅（朝日で見にくい）

*東海道線下りホームでは

三河大塚駅（夕日で見にくい）三河塩津駅（夕日で見にくい）三ヶ根駅（夕日で見にくい）刈谷駅下り 1 番（朝日で見にくい）逢妻駅（朝日で見にくい）金山駅（朝日で見にくい）

【回答】適宜適切に対応している。気象条件等の不都合により確認が困難である場合には作業要領に記載のあるとおり運転士と打ち合わせて前方及び後方の双方から車側灯の滅灯及びドア挟み等が無いことを確認する。「旅客の乗降終了が確認できない場合の取り扱い」を行い安全を確保していただきたい。

7. 中央線の金山駅下り（8・10両）ホームのカメラ設置が屋根下にあるため、昼間では逆光の映像が I T Vに映るため非常に確認しづらい状態になっている。停止位置を1両ほど名古屋方に移動すれば全車両が直線で見えるようになるの停止位置を移動すること。

【回答】適宜適切に対応していく。尚、現時点でそのような考えはない。

8. 発車時の運転士のホーム安全確認を定光寺駅下り（8両以上）・春日井駅上り（8両以上）で行うように指導しているが、車掌が確認できる状態である。列車遅れの原因にもつながっているので運転士からの合図を必要時以外はやめること。

【回答】そのような考えはない。

【主なやりとり】

（組合）1 番の回答は漠然としている。具体的には言えないのか。

（会社）数値等では言い表せない。声は聞いてきている。

（組合）駅の利用状況は考えないのか。

（会社）考えている。

（組合）各線区毎の設置状況はどうなのか。

（会社）東海道線 1 3 駅 中央線 1 8 駅 高山線 1 駅 太多線 3 駅 飯田線 1 駅である。

（組合）何故、最初に回答しないのか。申し入れには各線区毎の数を求めている。軽視しているのか。

（会社）理由がわからなかった。

（組合）I T V設置は費用が多くかかるのか。もっと設置できないのか。

（会社）安いものではない。

（組合）列車の発着番線も考慮すべきである。東海道線名古屋駅など旅客の少ないホーム

を有効活用すべきだ。

(会社) 利用状況も勘案している。

(組合) 故障している I T V もある。

(会社) この場で回答できないが、現場で指導されているようにされたい。

(組合) 4 番の項目は要求が実現ということだな。

(会社) どのように受け止めて貰っても構いません。

(組合) 7 番の項目は多少停止位置を変更するだけで、全車両が直線で見やすくなるという現場社員の生の意見である。このような意見を汲み取るべきだ。

(会社) 貴重な声であることは認識している。今後も、意見は出して頂きたい。

(組合) 利益が上がっているのだから在来線にも設備投資をすること。ホーム上の安全については、今後も継続して問題提起していく。以上

以上